

令和7年度「#あおばな in 向陵高校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和8年2月18日（水）13：30～14：50

○場所：向陵高等学校 体育館

○参加生徒：全校生徒 125名

＜生徒との意見交換＞

知事と生徒の皆さんが以下の内容について対話しました。

- ①県内の産業創出と教育環境の整備
- ②教育を通じた地元への愛着の醸成
- ③交通が不便な地域における移動手段の確保
- ④若者が有意義に過ごせる場所の充実

※知事から生徒の皆さんへのコメントの一部を紹介します。

- ・私は、皆さんに青森にいてほしいと言うつもりはなく、むしろ、皆さんがこの学校で学び得たことを生かして、あらゆるところで自分の夢を実現してほしい。青森県で生まれ育ち、この地域を愛する気持ちがあれば、県外や海外で働いていても、青森県のために何かしようという思いや、戻りたいという気持ちも出てくると思う。私としては、皆さんが振り返ったときに、青森はいいところだから帰ってきたいと思えるような環境をつくっていきたい。
- ・高校生になって世の中が見えてくると、世の中に対する不満も出てくると思う。ここで大事なことは、他人は解決してくれないから、自分で解決するしかないということ。皆さんには是非、人を頼りするよりも、人に頼られる人になってほしい。そのポテンシャルが自分自身にあると思ってほしいし、これから皆さんが学校生活や高校卒業後にどのように過ごすかが大事。
- ・これから、学校生活や将来を考えていくうえで、様々な壁にぶつかることがあると思う。そういうときに、解決方法を見出すためには、対話が重要。友達、先生、親、地域の人たちとの対話から、自分が納得する答えを見つけ出し、対話を通じて皆さんのこれからの人生が豊かになることを期待している。

